

富山県立魚津高等学校 アメリカ研修一日目報告書

集合時間の 30 分ほど前から保護者の方と一緒に生徒が集まり始めました。いよいよアメリカに旅立つということで緊張している様子の生徒、興奮気味の生徒とそれぞれですが、先生方からの激励を受け出発の実感が湧いてきたようです。新幹線から始まり、東京駅からバスで羽田空港までの移動と皆緊張感を持って行動したせいもあり、予定した時間よりもかなり早めにチェックインや出国手続きを終える事が出来ました。

機内ではまだ早めの時間帯と言うこともあり、眠ることよりも友達と話したり、機内のエンタテインメントを楽しんだようです。飛行機の中では当然外国人の CA さんもいたため、ドリンクのオーダーをするのも一苦勞。思わず「飲みたいものを諦めてしまった…」など早速言葉の壁にぶつかっていました。

ミネアポリス空港での入国審査では、機械を使って手続きをした後に審査官との対面審査があります。聞かれる内容は審査官によって違いますが、ほぼ何も聞かれない生徒が多く少し拍子抜けだったよう。空港での自由時間の際に買い物をし、日本ではお目にかかれない食べ物に挑戦したり、様々な国籍の人が行きかう様子を目の当たりにして、ようやくアメリカに来たことを感じていました。

ミネアポリスからボストンへの飛行機が上空混雑の為 1 時間ほど遅れ、ボストン到着は 23:00 ごろとなってしまいました。早々に 3 台のバンに分かれ、それぞれのホームステイ先に送り届けられます。長い一日の最後にファミリーとの緊張の対面が待っています。しかしながら本日は夜遅くの到着ですので、交流と言うほどの時間は取れそうにありません。まずは今夜のシャワーや翌朝の朝食、そして学校までの経路など最低限必要な事を確認し、出来るだけ早く休んでもらうことにしています。出発式から 30 時間が経ちさすがに疲れもありますが、生徒同士協力し、最初の試練を乗り越えてほしいと思います。



出発式での生徒代表挨拶



出発前の一枚



羽田空港ゲート前で